

北海道学生研究会 SCAN

Sophisticated Community and
Academics for Networking

第5回合同研究発表会

開催日時 平成26年12月13日(土)

開場 12:30

開始 13:00

会場 釧路公立大学

Contents

挨拶	1
プログラム	2
《教室割》	
121教室	3
122教室	5
123教室	7
大講義室1	9
協賛	11
後援と役員紹介	14

参加大学・・・北見工業大学、釧路公立大学
公立はこだて未来大学、札幌大学
札幌学院大学、北海学園大学
北海道教育大学釧路校

挨拶



第5回合同研究発表会開催にあたって

第5期 SCAN 代表 和田 聖雅

SCANとは2010年度に釧路公立大学の学生を中心に発足された、学生による地域に向けた政策提言組織です。北海道の様々な地域の学生が一つとなり、地域の活性化や発展を目標に政策提言をし、多くの方々からご意見やご支援頂きながら活動しています。先生方をはじめ地域の方々、企業の方々にご理解・ご協力頂いておりますこと、誠に感謝申し上げます。5年目となる今年度は7大学95人の学生が参加し、昨年度に引き続き合同研究発表会を開催することができ、私自身非常に嬉しく思います。

学生が地域の方々や他大学の学生とつながる機会は多くはありません。そんな中、合同研究発表会では他大学の学生との意見交換や地域の方々に直接提言できる貴重な場となっています。5年目を迎えたSCANが今後、より多くの方々に私たちの活動を知っていただき、北海道の皆様にも愛される組織へ発展することを心より願っております。



感覚を研ぎ澄まして、

「自分の地域経験」を持つとう

釧路公立大学 学長 高野 敏行

大学生の社会参加・社会連携ということが注目されつつあります。実際、イベント・お祭りへの参加やボランティア活動による地域社会への参加がニュースなどで話題にもなっているように思います。でも、大学生の教育・研究活動が社会連携に直結している活動は、日本中を見渡してもまだまだとても少ないようです。自分たちの研究を政策提言にまでまとめるというSCANの活動は、その意味で、全国の先頭を走っています。大いに自信を持ってください。

私からの注文は、地域を外から見て分析する技術を身につけることももちろん大切だけど、自分の中にある地域の実感を大切にすることをあきらめないで、ということだけです。お客様視点ではなく、住民視点で自分の周囲を見てください。

今回の発表もたのしみにしています。

プログラム

発表形式 : Power Point (スライド) によるプレゼンテーション

各班持ち時間 40 分 (発表 20 分 質疑応答 10 分 講評 10 分)

研究テーマ : 「北海道の可能性」「地域」

各教室タイムテーブル

	121 教室	122 教室
13:00 ~13:40	地域教育 ~釧路のまちなかフットパス~ (釧路公立大学 神野ゼミ A)	北海道教育大学釧路校構内における キツネとの共生への試み (北海道教育大学釧路校 自然と環境教育研究室)
13:45 ~14:25	産官学連携による大学の社会貢献に 対する学生の寄与 ~大学における各種関連活動に関する考察~ (北見工業大学 産官学連携価値創造研究室 A)	米のブランド化を中心とした 農業による地域の活性化 (札幌学院大学 平澤研究室)
14:30 ~15:10	別海の地域医療 (北海学園大学 大貝ゼミ A)	北海道におけるオオカミの再導入政策 (釧路公立大学 小林ゼミ)
15:15 ~15:55	北海道の若年層の就職は厳しいのか? (札幌大学 武者ゼミ A)	音更町における地産地消の実態と課題 (札幌学院大学 佐々木ゼミ)
16:00 ~16:40	僻地、広域な地域における心臓リハビリテー ション患者向けアプリケーションに関する研究 -北海道の事例に基づいた構築- (釧路公立大学 医療情報学研究室 (皆月ゼミ))	別海町の酪農について (北海学園大学 大貝ゼミ C)
16:45 ~17:25		

	123 教室	大講義室 1
13:00 ~13:40	中国人旅行者の北海道観光促進に向けて ~アミューズメントパークの新たな活用を探る~ (札幌大学 中山ゼミ)	別海町の観光振興策について (北海学園大学 大貝ゼミ B)
13:45 ~14:25	「純」道産スイーツの可能性 (北海学園大学 宮島ゼミ)	六次産業化からみる北海道の可能性 (札幌大学 武者ゼミ B)
14:30 ~15:10	着地型観光における「観光資源」としての 都市力向上をめざして (北見工業大学 核化学情報工学研究室・ テキスト情報処理研究室合同)	市民文化活動のネットワーク分析 ~函館地域の事例から~ (公立はこだて未来大学 田柳研究室)
15:15 ~15:55	宿泊施設のユーザーレビューから見る 旅行者の満足度と観光産業の関連性 (釧路公立大学 下山ゼミ B)	道内ハブとしての苫小牧港の役割と可能性 (札幌学院大学 加藤ゼミ)
16:00 ~16:40	釧路の街にフットパスがもたらす内発的発展 (釧路公立大学 神野ゼミ B)	産官学連携による大学の社会貢献に対する学生の寄与 ~地域における産業・文化振興に向けた考察~ (北見工業大学 産官学連携価値創造研究室 B)
16:45 ~17:25		観光需要の季節変動性を考慮した活性化のあり方 ~ピークロードプライシング理論を用いた考察~ (釧路公立大学 下山ゼミ A)

121教室

13:00
~13:40

釧路公立大学 神野ゼミ A ①
地域教育
~釧路のまちなかフットパス~

近年、教育の分野で注目を浴びている「地域教育」や座学では得られないことへの重要性が高まっている中で、地域教育の一環として行うことができ、現在存在している教育問題を是正する効果があるため、私たちは釧路のまちなかフットパスを提案する。また釧路のまちなかフットパスには、学生が釧路のまちなかの良さを認識することから得られる教育効果があると考えられる。

13:45
~14:25

北見工業大学 産学官連携価値創造研究室 A ②
産学官連携による大学の社会貢献に対する学生の寄与
~大学における各種関連活動に関する考察~

大学では教育、研究、社会貢献が使命とされており、社会貢献に関する各種活動が行われている。産学官連携は社会貢献を推進していくために欠かせない手段であり、その内容も様々である。本発表では、「学問としての北見学の提案」、「地域振興を目的とした教育・研究の検討」、「研究設備の有効活用方法の検討」、「国際交流向上に向けた提案」など、大学の各種機能に対する学生の提案・検討について報告する。

14:30
~15:10

北海学園大学 大貝ゼミ A ③
別海の地域医療

日本の地域医療は、過去の医療費抑制政策や新しい臨床研修制度の実施等により、都市と地方との医療格差が拡大している。そのため、地域住民は安心して生活できる医療サービスを受けることが困難になっている地域も出てきている。本報告では、広大な面積を有しながらも独自の方法で医療を展開している別海町を取り上げるとともに、他地域との比較を通じて、今後の地域医療に不可欠な政策を提言することを試みる。

121教室

15:15
~15:55

札幌大学 武者ゼミ A ④
北海道の若年者の就職は厳しいのか？

北海道の労働市場は全国よりも厳しく、就職口が少ないとよく言われている。しかし一方では、近年アベノミクスによる景気回復で若年者の雇用が改善されており、北海道の若年者の労働市場は回復してきている。

先行研究では日本の若年者の雇用問題として、失業率が高いこと、求人倍率が低く雇用の場が少ないという意見があったが、我々はなぜ企業は新卒者を好むのか、札幌のサービス業の多さと新卒雇用のつながりに着目して分析を行い、政策提言を行う。

16:00
~16:40

釧路公立大学 医療情報学研究室（皆月ゼミ） ⑤
僻地、広域な地域における心臓リハビリテーション
患者向けアプリケーションに関する研究
ー北海道の事例に基づいた構築ー

心臓リハビリテーションとは、傷病のため心臓をいたわるように安静な生活を続けたことによって、運動能力や身体の調節機能が低下した患者が1日も早く社会生活や家庭生活に戻るために実施されており、安全に質の高い生活を取り戻すプログラムのことである。

研究開発として北海道の医療情報調査データから、僻地の患者は継続的なリハビリを行うことが困難であるという仮説に基づき、支援アプリケーションを開発し非監視型のリハビリへの適用を試みた。

WHAT'S SCAN①

北海道学生研究会 SCAN では主に「合同研究発表会」と「インターカレッジフォーラム」を行っております。これまでのテーマは第1回目「地域」、第2回目「再生」、第3回目「連携」、第4回目「北海道の魅力～発見と活用～」のテーマで行われました。合同研究発表会では、各教室でもっともよい発表を選出します。今年は何の班が選ばれるのでしょうか！？

1 2 2 教室

13:00
~13:40

北海道教育大学釧路校 自然と環境教育研究室
北海道教育大学釧路校構内におけるキツネとの共生への試み

①

北海道ではエキノコックス（寄生虫の一種）はよく知られたものであり、現在その対策として、その宿主となるキツネの駆除が各市町村で実施されている。ただし、学校等の教育現場では駆除には踏み切れず、出没したとしても対応に苦慮してきた。そこで、他の地域で効果を上げている駆虫薬入りの餌（ベイト）をキツネに与えることで、キツネを殺さずにエキノコックスだけを駆除する方法を大学構内で試みた。今回、私たちの活動を広く知っていただくことで、これからのエキノコックス対策の在り方、キツネとの関係についてより深く理解していただければ幸いである。

13:45
~14:25

札幌学院大学 平澤研究室
米のブランド化を中心とした農業による地域の活性化

②

蘭越町ではとれる良質の米をブランド化することにより地域の活性化を図ろうとしている。この事例を取り上げ、紹介するとともに、米のブランド化など農業の活性化における問題点とその改善について提案する。

14:30
~15:10

釧路公立大学 小林ゼミ
北海道におけるオオカミの再導入政策

③

近年、北海道では増えすぎたエゾシカによる農作物への食害が深刻化している。被害額で見るとここ数年は毎年 50 億円以上の被害が出ている。

その他にもシカと衝突する交通事故や自然植生への悪影響など、エゾシカ被害対策は北海道にとって重大な課題となっている。

道はシカ柵の設置、シカ猟の報奨金の増額などによりエゾシカの保護管理に注力しているが、私はそれらとは少し考え方の違う、生態系を用いたエゾシカ保護管理、「オオカミの再導入」というものを提案したい。

122教室

15:15
~15:55

札幌学院大学 佐々木ゼミ
音更町における地産地消の実態と課題

④

私たち佐々木ゼミは、今年の夏、音更町において「食と農を繋げた地域経済の活性化戦略」というテーマで流通・加工企業に焦点を当ててフィールドワーク調査を実施した。本調査と町民アンケートの調査結果とともに、「地産地消」をキーワードに、地産地消の必要性和音更町における地産地消の取り組みを明らかにし、その実態の分析を行う。これらを踏まえ、音更町における地産地消を通じた地域経済循環のあり方を模索し、政策提言を行う。

16:00
~16:40

北海学園大学 大貝ゼミC
別海町の酪農について

⑤

北海道の基幹的産業として、農業を中心とした第一次産業がある。中でも北海道別海町は、戦後の過程で国家プロジェクトによって酪農を中心とした産業育成がなされてきた。さらに、別海町の酪農では、現在、メガファームといった大規模酪農を推進して行く方向にある一方で、大規模酪農であるが故に、地域の環境問題を引き起こしている実情もある。本報告では、そのような歴史的過程を通じて形成されてきた別海町酪農に対する政策提言を行う予定である。

WHAT'S SCAN②

インターカレッジフォーラム（略してICF）は今年で第3回目となります。今年12月23日（火）に札幌コンベンションセンターで行われます。ICFでは合同研究発表会で優秀論文を受賞した4班の研究発表とゲストのラッキーピエログループ社長である王一郎氏に講演を行っていただきます。

1 2 3 教室

13:00
~13:40

札幌大学 中山ゼミ A ①
中国人旅行者の北海道観光促進に向けて
~アミューズメントパークの新たな活用を探る~

近年、アミューズメントパークでは若者利用が減り、新たなマーケティング戦略の模索がはじまっている。長期的にみても北海道は少子化傾向にあり、かつ道内人口の減少に歯止めがかからない。そんな中、業界では年々増加する中国系観光客需要を取り込もうと新たな戦略を練り始めている。本研究は中国人旅行者の北海道観光促進に向け、外国人観光客が利用しやすいアミューズメントパークのあり方を考察し、新たな戦略を業界提案する。

13:45
~14:25

北海学園大学 宮島ゼミ ②
「純」道産スイーツの可能性

現在「北海道」と名前のついたスイーツは国内だけでなく海外でも販売され、強い注目を浴びている。この流れは道外に多くの農産物を出荷するだけでなく、数多くの菓子メーカーを有する北海道にも無視できないものになりつつある。その一方で、北海道の農産物で作られた北海道産スイーツに対する道民のこだわりは、それほど高いとは言えない。そこで今回、「北海道」のネームバリューと、原材料が北海道産であることの付加価値を探求していく。

14:30
~15:10

北見工業大学 核科学情報工学研究室・テキスト情報処理研究室合同 ③
着地型観光における「観光資源」としての都市力向上をめざして

北海道の産業として観光は重要な役割を占める。観光による地域活性化を考える場合において、その地域・都市が持つ魅力を「都市力」と捉え、その都市力そのものを大きくするための資源や、地域間・都市間の連携の可能性を、ホテルの評価、スポーツ振興を通じての観光等、多角的に分析を行う。

1 2 3 教室

15:15
~15:55

釧路公立大学 下山ゼミ B ④ 宿泊施設のユーザーレビューから見る旅行者の 満足度と観光産業の関連性

観光産業をよりよくするために、観光地、観光施設の利活用はすでに議論され重要視されているが、観光産業はホスピタリティ（おもてなし）を提供する産業であるため、今後の観光を考える上では旅行者のニーズを理解し、満足度についても考えていく必要がある。そこで私たちは、観光サービスの中でも、寝食、接客等のおもてなし要素が複合的に存在する、宿泊施設に注目した。旅行者自らがインターネットを参考に旅行のプランを立てる傾向が強まっているという現状を踏まえ、宿泊施設のユーザーレビューを用いて、観光に関連する統計データとの関係から、今後の北海道観光における可能性について考察していく。

16:00
~16:40

釧路公立大学 神野ゼミ B ⑤ 釧路の街にフットパスがもたらす内発的発展

釧路の街の活性化のためにフットパスのコースを作成し、新たな観光のあり方を提案する。釧路の魅力は釧路湿原のみではなく、街中にも多くある。街中の魅力を実感できるフットパスコースが盛んになると街に活気がでる。また土地の魅力を発見できるフットパスは観光地としても魅力的である。住民が街中を歩くことで観光地としての価値が高まるという新しい形の観光地としてフットパスを提案する。

WHAT'S SCAN③

合同研究発表会とICF以外の活動を紹介します。今年の11月10日には、釧路市で問題となっている図書館移転問題についてのワークショップ「図書館移転問題について市議会議員と考える」を行いました。そこで図書館の立地、負担費用、政策決定のあり方を市議会議員の方々とグループワークを行い釧路市の問題について理解を深めました。

大講義室 1

13:00
~13:40

北海学園大学 大貝ゼミ B
別海町の観光振興策について

①

地域活性化の手段として、観光振興が叫ばれて久しい。中でも通過型観光から滞在型観光への転換が課題となっている地域が北海道には多く存在する。本報告では、地域活性化の手段として観光振興を実現させるためには、何が必要なのだろうか。我々はいかにして地域資源を活用するか、あるいは周辺地域との連携を行うのかこの2点が重要であると考えており、これらの点に焦点をあて、別海町の事例を通じて発表する予定である。

13:45
~14:25

札幌大学 武者ゼミ B
六次産業化からみる北海道の可能性

②

北海道は資源が豊富で農業や漁業などの第一次産業の生産額が高い割合を占めているが、道内での消費に直接つながっていない傾向にある。加えて、一次→二次→三次という産業間の繋がりが弱いため資源の道外への輸出が一般的となっている。昨年度までの研究発表会では、農業の新たな担い手を生み出そうとする取り組みについて政策提言が行われていたが、私たちは農業を含む北海道全体の産業の六次化に着目し、改めて道内の産業構造を調査した上で北海道の可能性について分析を行い、政策提言を行う。

14:30
~15:10

公立はこだて未来大学 田柳研究室
市民文化活動のネットワーク分析
~函館地域の事例から~

③

ネットワーク分析とは、人のグループ、コミュニティ、組織、社会の構造に注目し、社会構造を「繋がり」として概念化し、それを分析するものである。地方都市の活力となる若者の社会参加は減少し、人と人との繋がりやコミュニティは崩壊が進んでいる。そこで若者が新たに参加する場所はネットワーク図のどこにあるのかを探るために、函館地域で活動している市民イベント団体や音楽団体に質問紙調査を行い、ネットワーク分析ソフト「Pajek」を利用して分析を行う。

大講義室 1

15:15
~15:55

札幌学院大学 加藤ゼミ ④
道内ハブとしての苫小牧港の役割と可能性

港湾は、その国や地域の物流を支える重要な社会資本の一つである。国際的な港湾競争が激化する中、日本では国際戦略港湾の整備とともに、各地域にある港湾の再編が課題となっている。

そこで本研究では、北海道において第一位の港湾取扱貨物量を誇り、国際拠点港湾である苫小牧港に焦点を当て、その役割や運営状況等を検討していく。そして、苫小牧港の利点を生かした発展に向けて、北海道内でのハブ港湾、日本国内でのフィーダーポートとしての苫小牧港の可能性について考える。

16:00
~16:40

北見工業大学 産官学連携価値創造研究室 B ⑤
産学官連携による大学の社会貢献に対する学生の寄与
~地域における産業・文化振興に向けた考察~

大学では教育、研究、社会貢献が使命とされており、社会貢献に関する各種活動が行われている。産学官連携は社会貢献を推進していくために欠かせない手段であり、その内容も様々である。本発表では、「地域振興へのスポーツの活用」、「理科への興味増進に向けた科学教室」、「地域の文化施設の機能強化」、「地域産品廃残留物の高付加価値商品化」など、学生の企画・実行による地域への貢献に向けた提案・検討について報告する。

16:45
~17:25

釧路公立大学 下山ゼミ A ⑥
観光需要の季節変動性を考慮した活性化のあり方
~ピークロードプライシング理論を用いた考察~

北海道の観光入込客数は、東日本大震災の影響で一時落ち込んだが、24年度には回復基調に転じ25年度には過去最高となった。そのような中でも課題はあり、夏場の観光入込客数が多く、冬場は少ないといった季節変動によって、労働力の過不足といった問題を生じさせていると考えられる。その対策として、①季節変動の平準化 ②観光客の単価を上げる ③外国人観光客を増やす、などが一般的に考えられている。そこで本研究では、需要のピーク時には高価格、オフピーク時には低価格と需要量に応じた価格を設定するピークロードプライシングの理論を用い、①について分析する。その分析を踏まえ、②の目的を達成するための政策提言をする。

協 賛

イオン北海道株式会社	釧路建設業協会
http://www.aeon-hokkaido.jp/home.html 〒003-8630 北海道札幌市白石区本通 21 丁目南 1 番地 10 号	http://www.senken.org/index.html 〒085-0832 北海道釧路市富士見 1 丁目 3 番地 2 号 電話 : 0154-41-7447 FAX : 0154-41-7202
一般財団法人大地みらい基金	株式会社 JTB 北海道
http://www.daichimirai.co.jp/ 〒087-8650 北海道根室市梅々枝町 3 丁目 15 番地 大地みらい信用金庫本店 2 階 電話 : 0153-24-4104 FAX : 0153-24-2801	電話 : 011-222-4343
帯広信用金庫	釧路市建設事業協会
http://www.shinkin.co.jp/obishin/index.html 〒080-8701 帯広市西 3 条南 7 丁目 2 番地 電話 : 0155-24-3171 (代)	http://www.kushiro-skj.gr.jp/ 〒085-0832 北海道釧路市富士見 1 丁目 3 番地 4 号 電話 : 0154-42-2215 FAX : 0154-42-1991
釧路商工会議所	釧路信用金庫
http://www.kuhcci.or.jp/ 〒085-0847 北海道釧路市大町 1 丁目 1 番地 1 号 道東経済センタービル 電話 : 0154-41-4141 (代表) FAX : 0154-41-4000	http://www.shinkin.co.jp/kushiro/ 〒085-0015 北海道釧路市北大通 8 丁目 2 番地 電話 : 0154-23-0111
コーチャンフォーグループ株式会社リリアブル	鶴雅グループ (株) 阿寒グランドホテル
http://www.coachandfour.ne.jp 〒085-0813 北海道釧路市春採 5 丁目 1 6 番 1 7 号 電話 : 0154-46-8000 FAX : 0154-46-8030	http://www.tsuruga.com/ 〒085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 4 丁目 6 番地 10 号 電話 : 0154-67-2531 FAX : 0154-67-2754

協 賛

<p>一般社団法人北海道中小企業家同友会釧根事務所</p>	<p>株式会社三ツ星レストランシステム</p>
<p>http://portal.doyu-kai.net/ 〒085-0016 北海道釧路市錦町 5 丁目 3 番地 三ツ輪ビル 5 階 電話 : 0154-31-0923 FAX : 0154-31-0944</p>	<p>http://www.mitsuboshi.net/ 〒085-0813 釧路市春採 5 丁目 16 番地 10 号 電話 : 0154-46-8484</p>
<p>株式会社モロオ</p>	<p>阿寒バス株式会社</p>
<p>http://www.moroo.co.jp 〒060-8525 北海道札幌市中央区北 3 条西 15 丁目 1 番 50 電話 : 011-618-2323</p>	<p>http://www.akanbus.co.jp/ 〒085-0062 北海道釧路市愛国 191 番地 208 電話 : 0154-37-2221 (代表)</p>
<p>ANA クラウンプラザホテル釧路</p>	<p>大塚製薬株式会社</p>
<p>http://www.anacpkushiro.com/ 〒085-0016 北海道釧路市錦町 3 丁目 7 番地 電話 : 0154-31-4111 FAX : 0154-24-7403</p>	<p>http://www.otsuka.co.jp/ 〒084-0906 北海道釧路市鳥取大通 7 丁目 2 番地 8 号 13 電話 : 0154-51-6721</p>
<p>キャリアバンク株式会社</p>	<p>釧路公立大学生生活協同組合</p>
<p>http://www.career-bank.co.jp/ 〒060-0005 北海道札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地 電話 : 011-251-3373</p>	<p>http://www.hokkaido.seikyoku.ne.jp/kushiro-puc/index.html 〒085-8585 北海道釧路市芦野 4 丁目 1 番地 1 号 電話 : 0154-37-4155 FAX : 0154-37-4277</p>
<p>一般社団法人釧路水産協会</p>	<p>釧路トヨタ自動車株式会社</p>
<p>〒085-0024 北海道釧路市浜町 3 番 18 号 くしろ水産センター 2 階 電話 : 0154-23-2970</p>	<p>http://www.946toyota.com 〒084-0906 北海道釧路市鳥取大通 6 丁目 4 番 3 号 電話 : 0154-51-3161 FAX : 0154-52-4608</p>

協 賛

協同組合東北海道労務福祉協会	ホームック株式会社
http://krg946obihiro.web.fc2.com/ 〒085-0015 北海道釧路市北大通 12 丁目 2 番地 電話 : 0154-22-8899 FAX : 0154-22-7566	http://www.homac.co.jp/ 〒004-8611 北海道札幌市厚別区厚別中央 3 条 2 丁目 1 番地 1 号 電話 : 011-892-6611 (代表)
株式会社ほくやく・竹山ホールディングス	ホクレン農業協同組合連合会釧路支所
〒060-0006 北海道札幌市北 6 条 16 丁目 1 番地 5 号 電話 : 011-633-1030 FAX : 011-633-1034	http://www.hokuren.or.jp/ 〒085-0018 北海道釧路市黒金町 12 丁目 10 番地 電話 0154-23-4511 FAX:0154-24-7937
(株)北海道アルバイト情報社釧路営業所	北海道コカ・コーラボトリング株式会社
http://www.haj.co.jp/ 〒084-0902 北海道釧路市昭和南 3 丁目 15 番地 5 号 アヴァンツァーレ昭和 1F 電話 : 0154-53-7570	http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/ (札幌本社) 〒004-8588 北海道札幌市清田区清田 1 条 1 丁目 2 番地 1 号 電話 : 011-888-2001 (釧路支店) 〒085-0022 北海道釧路市南浜町 9 番地 16 号 電話 : 0154-23-3131 FAX : 0154-23-3137
株式会社ムトウ	株式会社柳月
http://www.wism-mutoh.co.jp/ 〒001-0011 北海道札幌市北区北 11 条西 4 丁目 1 番地 15 号 電話 : 011-746-5111 FAX : 011-717-0547	http://www.ryugetsu.co.jp/ 〒080-0342 北海道河東郡音更町下音更北 9 西 18 - 2 電話 : 0120-25-5566
六花亭製菓株式会社	
http://www.rokkatei.co.jp/ 〒080-2496 帯広市西 24 条北 1 丁目 3-19 電話 : 0120-12-6666	

後援

国立大学法人北見工業大学

釧路公立大学

釧路市

経済産業省北海道経済産業局

公立はこだて未来大学

国土交通省北海道開発局

札幌学院大学

札幌大学

財務省北海道財務局釧路財務事務所

北海道教育大学釧路校

北海道教育庁釧路教育局

一般社団法人北海道商工会議所連合会

(五十音順・敬称略)

北海道学生研究会SCAN 第5期運営委員

《役員》

SCAN代表	和田 聖雅	(釧路公立大学・下山ゼミ)
SCAN副代表	高原 琢幹	(札幌大学・武者ゼミ)
	本間 雄大	(釧路公立大学・下山ゼミ)
会計	後藤 成美	(釧路公立大学・下山ゼミ)

《部門代表》

企画運営代表	小林 芹奈	(釧路公立大学・下山ゼミ)
広報代表	橋内 文治	(釧路公立大学・下山ゼミ)
渉外代表	高橋 遥	(釧路公立大学・下山ゼミ)

《運営委員》

泉野 雅徳	(札幌学院大学・加藤ゼミ)	大花 歩	(札幌学院大学・加藤ゼミ)
音村 拓哉	(札幌学院大学・加藤ゼミ)	河内 直樹	(釧路公立大学・下山ゼミ)
小島 智弥	(釧路公立大学・下山ゼミ)	今野 悠貴	(釧路公立大学・下山ゼミ)
桜庭 優斗	(札幌学院大学・加藤ゼミ)	島本 好香	(釧路公立大学・下山ゼミ)
高橋 直也	(札幌大学・武者ゼミ)	武井 陸	(札幌学院大学・加藤ゼミ)
館山 嘉周	(札幌学院大学・加藤ゼミ)	飛内 望里	(釧路公立大学・下山ゼミ)
中森 琢磨	(釧路公立大学・下山ゼミ)	西内 辰大	(釧路公立大学・下山ゼミ)
馬場 沙織	(釧路公立大学・下山ゼミ)	濱谷 潤也	(札幌学院大学・加藤ゼミ)
藤本 亮介	(釧路公立大学・下山ゼミ)	松浦 正	(釧路公立大学・下山ゼミ)
溝口 裕斗	(釧路公立大学・下山ゼミ)		(五十音順・26名)

